



低濃度PCB含有廃棄物のPCB分析 「廃塗料の分析」

環境省より、「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法(第2版)」が公表されました。当社では本方法による測定をお引き受けいたします。

低濃度PCB含有廃棄物に関する測定を開始しました

平成25年2月に環境省より「低濃度PCB廃棄物の処理に関するガイドライン—焼却処理編—」が公表されました。低濃度PCB含有廃棄物を排出する業者は、このガイドラインに沿って低濃度PCB廃棄物中のPCB濃度を事前に確認する必要があります。このPCB濃度を検証する分析方法として、「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法(第2版)」が公表されました。

<参照サイト>

「低濃度PCB廃棄物の処理に関するガイドライン—焼却処理編—」

http://www.env.go.jp/recycle/poly/manual/guideline_haidenki.pdf

「低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法(第2版)」

http://www.env.go.jp/recycle/poly/manual/lc-method_v2.pdf

**廃塗料中に高濃度の絶縁油由来PCBと、微量の有機顔料由来PCBが検出され
高精度かつ迅速な分析が必要とされています。**

当社の廃塗料PCB分析サービスの特長

- 高分解能GC-MSにより、他の有機ハロゲン化合物の影響を受けることなく高精度な定量分析をご提供いたします。
- 最短1週間納期で分析結果をご報告いたします。
・廃プラ・汚泥・活性炭などの試料区分や検体数によって、納期のご相談に応じます。
- ソックスレー抽出、超音波抽出など、様々な方法に対応可能です。
・適用例: スポイト、ウエス、廃塗料* など



高分解能GC-MS

廃塗料の分析について

- 廃塗料については、性状、自治体、中間処理業者などにより試料区分が異なる場合がございます。
- 当社では、どのような試料区分、分析方法でも対応いたします。
* 廃塗料においては、絶縁油由来のPCBと有機顔料由来のPCBが混在すること、また有機物による妨害物質が多いことから、高分解能GC-MSでの分析を推奨しております。
(試料量3g程度の場合、定量下限値: 0.01mg/kgまで可能)

剥離剤を含む廃塗料の分析例

橋梁塗替え工事などで既設塗料を剥離する場合、粉塵発生など環境影響を考慮し、剥離剤を使用する場合があります。

この剥離剤を含む廃塗料分析に、公定法を適用すると、剥離剤により負の干渉を受け、定量結果が低値となります。当社では独自のクリーンアップ方法により、影響の無い分析方法を確立いたしました。

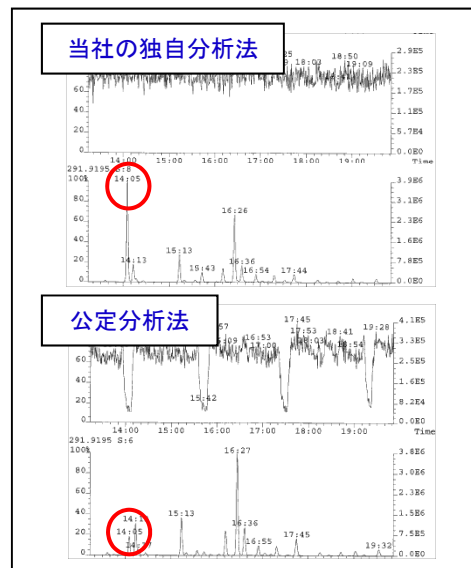


図1 剥離剤を含む廃塗料分析のクロマトグラム



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2013 - 2015 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。